

通史編3冊

1 先史時代〜戦国時代



多様な地形をもち、豊かな自然に彩られる東京。武蔵国府の設置、武士団の成長、小田原北条氏の支配。その下で営まれる人びとの暮らしや社会の動きに視点を置き、「東京の歴史」の舞台と、先史から戦国時代の歩みを描きます。

2 江戸時代



家康の入府以来、急速に巨大城下町へと変貌する江戸。幕藩権力や物流、そして人びとの生活を支えるインフラや都市行政。災害や病、歌舞伎・浮世絵など民衆文化を見ながら、巨大城下町における人びとの営みを描きます。

3 明治時代〜現代



明治維新により江戸は「東京」と名前を変え、首都となりました。いかに東京は形成され、そこで人びとは暮らし、たのびましたか。都市化の進展、震災と戦災、戦後復興から今日の国際化まで、激動の近現代史に迫ります。

B5判・上製・カバー装・160頁

【定価】各巻 3080円

セット30800円

*全巻好評発売中！お申込は最寄りの書店、または直接小社営業部まで

《通史編》

(通巻1〜3)

- 1 先史時代〜戦国時代 (通史編1) 978-4-642-06826-0
- 2 江戸時代 (通史編2) 978-4-642-06827-7
- 3 明治時代〜現代 (通史編3) 978-4-642-06828-4



《地帯編》

(通巻4〜10)

- 4 千代田区・港区・新宿区・文京区 (地帯編1) 978-4-642-06829-1
- 5 中央区・台東区・墨田区・江東区 (地帯編2) 978-4-642-06830-7
- 6 品川区・大田区・目黒区・世田谷区 (地帯編3) 978-4-642-06831-4
- 7 渋谷区・中野区・杉並区・板橋区・練馬区・豊島区・北区 (地帯編4) 978-4-642-06832-1
- 8 足立区・葛飾区・荒川区・江戸川区 (地帯編5) 978-4-642-06833-8
- 9 多摩I (地帯編6) 978-4-642-06834-5
- 10 多摩II・島嶼 (地帯編7) 978-4-642-06835-2

おすすめします！

中学生、高校生、一般社会人、郷土史愛好家、小学校・中学校・高等学校教諭、博物館や自治体職員などの方々、公共図書館、公民館図書室、中学校図書室、高校図書室、中学・高校社会科、博物館・資料館、自治体教育委員会など

シリーズの特色

● 原始・古代から現代まで、東京の基盤と生成、歴史時代の歩みを、オールカラーで多面的かつコンパクトに辿ります。

● 三冊の「通史編」と七冊の「地帯編」で構成。「通史編」通巻1〜3巻 東京都の範囲を対象に、歴史時代を原始・古代、中世、近世、近現代に区分し、取り上げるテーマにそって史料を窓口時代に流れで描きます。

● 「地帯編」通巻4〜10巻 三九の特別区、三九の市町村からなる自治体を枠に、通巻4〜8巻で区部を、通巻9〜10巻で多摩地区や島嶼の市町村を取り上げ、それぞれ固有の歴史を描きます。

● 各巻四つの章に五つのテーマを節として置き、厳選したあわせて二〇〇のテーマを「みる」「よむ」「あるく」の三つで叙述します。

● 身近にある史跡や歴史的景観に触れ、地域の博物館・資料館・図書館を利用し、新たな歴史と出会う手がかりを提供します。

吉川弘文館 〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 (URL) http://www.yoshikawa-k.co.jp/ 電話 03-3813-9151 (代表) / FAX 03-3812-3544 / 振替 00100-5-244 (10%税込) 21.6

●吉川弘文館 特約書店名

『みる・よむ・あるく 東京の歴史 全10巻』を()セット)注文します。

通巻()巻を()冊)注文します。

お名前 _____ お電話 _____

ご住所 〒 _____

東京の歴史

全10巻 完結

みる

よむ

あるく

池 享・櫻井良樹・陣内秀信・西木浩一・吉田伸之 編

巨大都市東京は、どんな歴史を歩み現在に至ったのでしょうか。古文書や絵図・地図・写真などの史料を窓口で解説した「みる」ことから始め、これを深く「よむ」ことで過去の事実を辿り、その痕跡を「あるく」道筋を案内。地域の基盤や時代の歩みを多面的に読み解きながら、厳選した二〇〇のテーマから個性溢れる東京の歴史を多面的に描きます。

三つのコンセプトで読み解く新たな「東京」ヒストリー

《組見本(60%縮小)》

みる

古文書や記録、絵図・地図・写真を基本史料として一点取り上げ、わかりやすく解説します。

よむ

「みる」の基本史料をていねいに読み解き、関連する史料や事項にも触れながら歴史の事実を迫ります。

あるく

「みる」「よむ」で得られた知識をもとに、関係する史跡や現状を辿る案内や、さらに深い歴史にむかって、あるく道筋を記します。

江戸の洪水対策と築堤

第三 みる

【旧江戸朱引内図】(東京都公文書館蔵)

【組見本(60%縮小)】

西木浩一

【地帯編】

【通史編】

【みる】の基本史料をていねいに読み解き、関連する史料や事項にも触れながら歴史の事実を迫ります。

「みる」「よむ」で得られた知識をもとに、関係する史跡や現状を辿る案内や、さらに深い歴史にむかって、あるく道筋を記します。

江戸の洪水対策と築堤

【みる】の基本史料をていねいに読み解き、関連する史料や事項にも触れながら歴史の事実を迫ります。

「みる」「よむ」で得られた知識をもとに、関係する史跡や現状を辿る案内や、さらに深い歴史にむかって、あるく道筋を記します。

吉川弘文館

4 千代田区・港区・新宿区・文京区

東京駅を有す丸の内、官庁の建ち並ぶ霞が関、花街の赤坂・神楽坂、土器名発祥の弥生町。都心に位置し、首都の役割を担いながら、濃密に過去の面影を残しています。何かが受け継がれ、今を形づくったのでしょうか。

序章 江戸を受け継ぐ都心の空間
第一章 千代田区
第二章 港区
第三章 新宿区
第四章 文京区

5 中央区・台東区・墨田区・江東区

江戸東京の中心日本橋から京橋・銀座、市場で賑わう築地、大寺院が織りなす人気観光スポット。上野、水路が巡り震災・戦災の記憶が漂う本所・深川。江戸の余韻を湛えつつ、新たな歴史を築く隅田川周辺の特徴をさぐります。

序章 東京低地の四つの区と隅田川
第一章 中央区
第二章 台東区
第三章 墨田区・江東区
第四章 隅田川と東京湾

6 品川区・大田区・目黒区・世田谷区

海に臨む品川・大森・羽田。江戸以来の大都市近郊行楽地・目黒。世田谷から大田へと、古墳や遺跡が連なる多摩川中下流域。早くベッドタウンが広がり、空港・リニア新幹線など、変貌続ける二三区の南部をみつめます。

序章 東京南部の四つの区と多摩川
第一章 品川区・目黒区
第二章 大田区
第三章 世田谷区
第四章 多摩川河口と汽水域

7 渋谷区・中野区・杉並区・板橋区

いまは繁華街として多くの人で賑わう渋谷や池袋も、江戸時代には郊外でした。近代化にともない鉄道が伸び、人が移り住み、やがてムラからマチへと都市化を遂げていった、二三区西北部エリアの変貌と発展を描きます。

序章 西北に広がる七つの特別区
第一章 渋谷区
第二章 中野区・杉並区
第三章 板橋区・練馬区
第四章 豊島区・北区

8 足立区・葛飾区・荒川区・江戸川区

肥沃な大地と豊かな水がもたらした江戸近郊の農業と近代的工場群。宿場町千住や門前町新又のなつかしい街並みと、再開発されたニュータウンが溶け合う東京低地の四区。新たな活気に満ちた東郊のルーツを探ります。

序章 水と生きる―東京低地の環境と生活―
第一章 足立区
第二章 葛飾区
第三章 荒川区
第四章 江戸川区

9 多摩 I (地帯編 6)

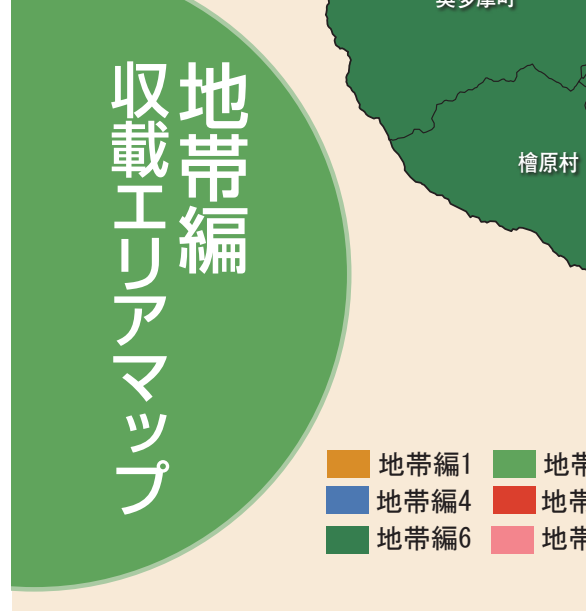
崖線からの湧き水が人びとの生活を潤した立川段丘、宅地化事業に広大な土地を提供した多摩丘陵、水や森林資源をはじめ国立公園などの観光資源を提供する奥多摩。開発と豊かな自然が織りなす多摩地域の歴史を探ります。

序章 豊かな自然のなかの暮らし
第一章 国立市・立川市・昭島市・福生市
第二章 稲城市・多摩市・町田市・日野市・八王子市
第三章 調布市・狛江市・府中市
第四章 伊豆諸島・小笠原諸島

10 多摩 II・島嶼 (地帯編 7)

古代武蔵国の中心として栄え、江戸へつながる街道や鉄道敷設で発展してきた多摩東部。観光地として人気の伊豆諸島、世界自然遺産に指定された小笠原諸島。首都近郊の多摩地域と豊かな自然を残す島嶼の歴史を訪ねます。

序章 島嶼および三区の隣接地域として
第一章 東久留米市・清瀬市・小平市
第二章 武蔵野市・国分寺市
第三章 調布市・狛江市・府中市
第四章 伊豆諸島・小笠原諸島



地帯編 7冊 収録エリアマップ



東京の歴史 10 東京の歴史 9 東京の歴史 7 東京の歴史 6 東京の歴史 5 東京の歴史 4